

令和5年度マイスター・ハイスクール事業成果発表会

# 地域発次世代イノベーター人材の育成 ～持続可能な日高農業の創り手～



北海道静内農業高等学校

マイスター・ハイスクールCEO 桑名真人

# 1 学校概要



静内農業高校



二十間道路桜並木  
(日本のサクラ100選)



優駿の里  
(日本一の軽種馬生産)

# 開設している学科



食品科学科



生産科学科  
園芸コース



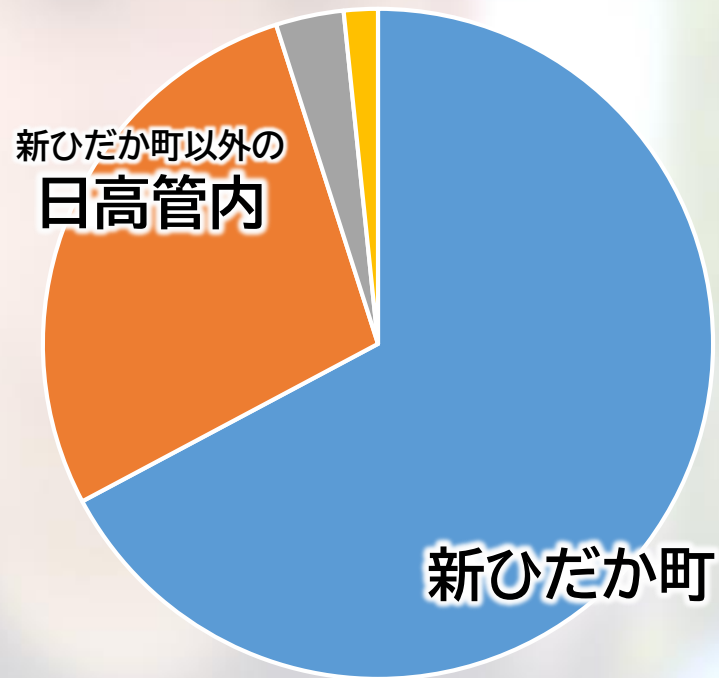
生産科学科  
馬事コース

# 生徒数(令和5年4月現在)

	食品科学科	生産科学科	合計
1学年	23	40	63
2学年	21	36	57
3学年	17	23	40
合計	61	99	160

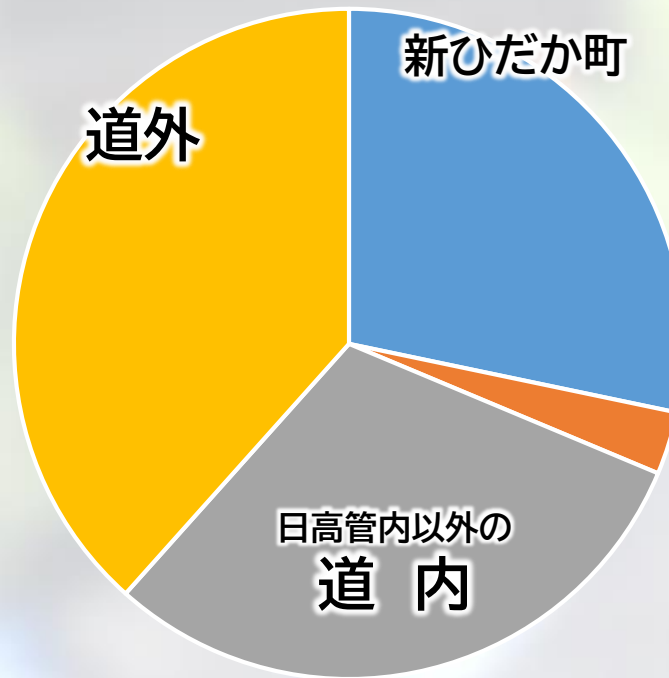
# 出身地別生徒の割合(令和5年4月現在)

食品科学科



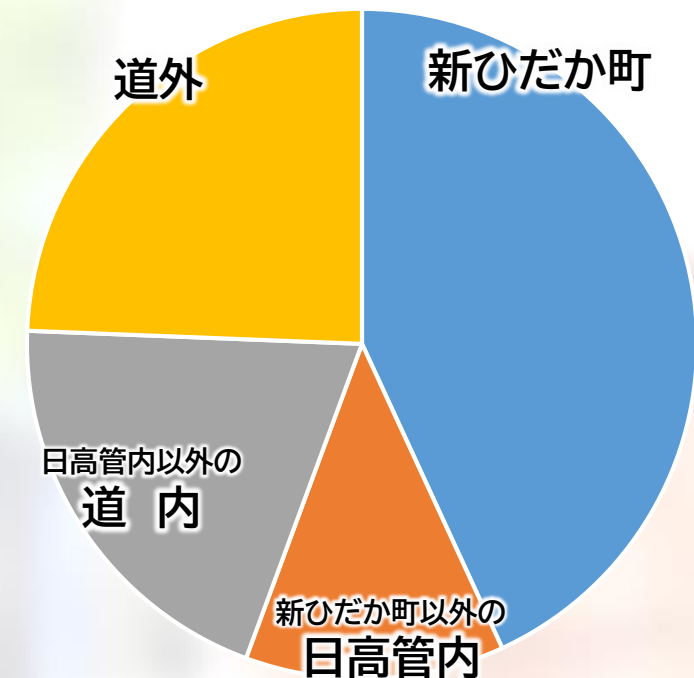
■新ひだか町 ■日高管内 ■道内 ■道外

生産科学科



■新ひだか町 ■日高管内 ■道内 ■道外

全校生徒



■新ひだか町 ■日高管内 ■道内 ■道外

## 2 マイスター・ハイスクール事業の実施経過

# マイスター・ハイスクールビジョン

## 北海道静内農業高校における人材育成計画の概要

- ア 高度熟練技能者による指導や企業等と連携した商品開発や軽種馬生産など、地域や産業界と連携した実践的・体験的な学習活動の推進及び学校設定科目の設定
- イ プロジェクト学習を中核とした教科等横断的な地域課題探究型の学習活動の推進
- ウ デュアルシステムを活用した地域の企業等と連携したキャリア教育の充実
- エ 地域や小・中学校と連携した教育活動など、異年齢集団による活動の推進
- オ オンライン授業や実験施設を利用した高度な実験・実習など大学等との連携・協働
- カ 農業経営のグローバル化等に対応するためのeコマースの活用や英語教育の充実



# 産業界との連携

# 食品科学科の商品開発と販売



プロジェクト学習における企業の支援



生徒の商品開発(プロジェクト学習)における技術支援



新ひだか町山村活性化支援  
交付金事業における支援

町内商工事業者と連携した  
商品開発と商品化



どさんこプラザ札幌店での試験販売  
(日高振興局商工観光労働課)



大阪近鉄百貨店北海道物産展での販売  
(新ひだか町町づくり推進課)

# 生産科学科園芸コースの知識・技術の習得

## 地域農家でのデュアル派遣実習



## 基幹作物の栽培学習



- 施設園芸を基幹とする日高管内の農業の発展
- 農業の担い手育成

## 高度な栽培技術の学習



土壌の特性  
病害虫防除  
作物の生理機能



北海道農政部  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場  
花・野菜技術センター

## 農業の担い手育成



JALしずない  
YUIME

新規就農に向けた  
情報提供  
ロードマップ、  
ロールモデルの学習

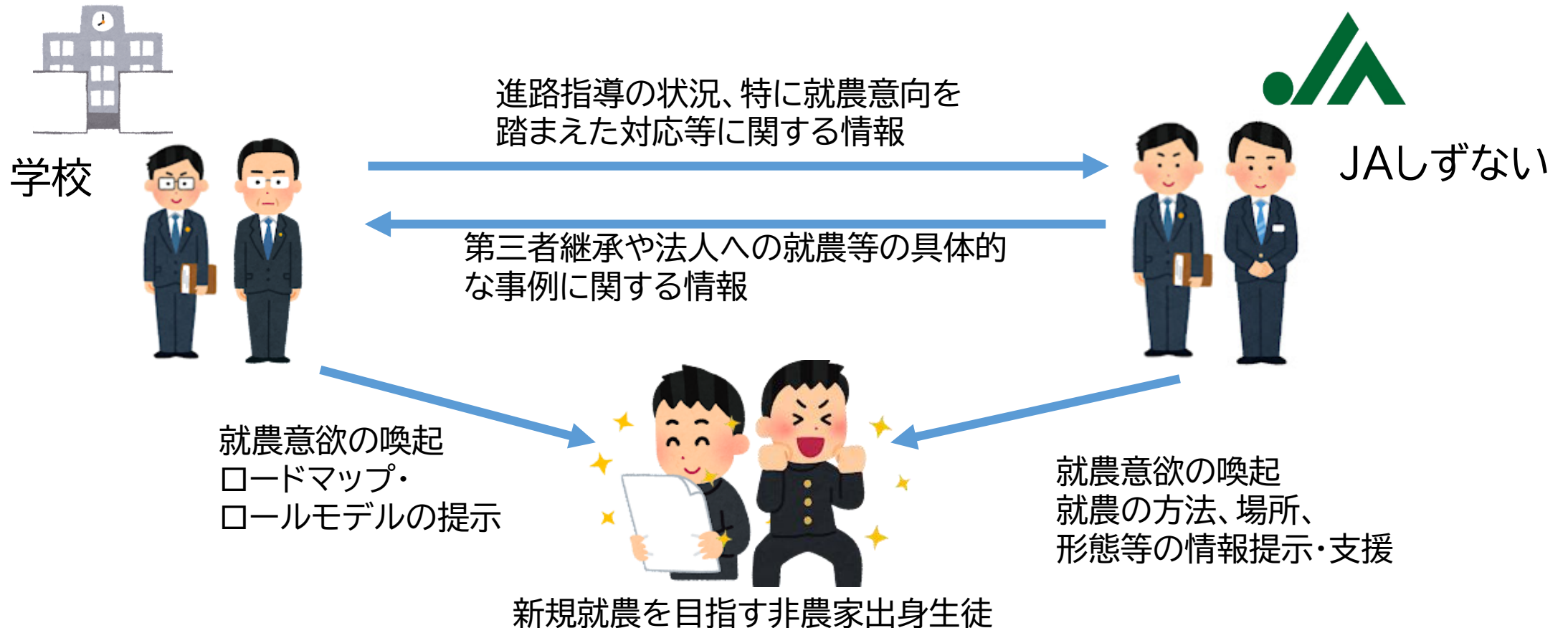
将来就農したい!



非農家出身だけど  
農家になれる?

# 就農に向けた環境作り

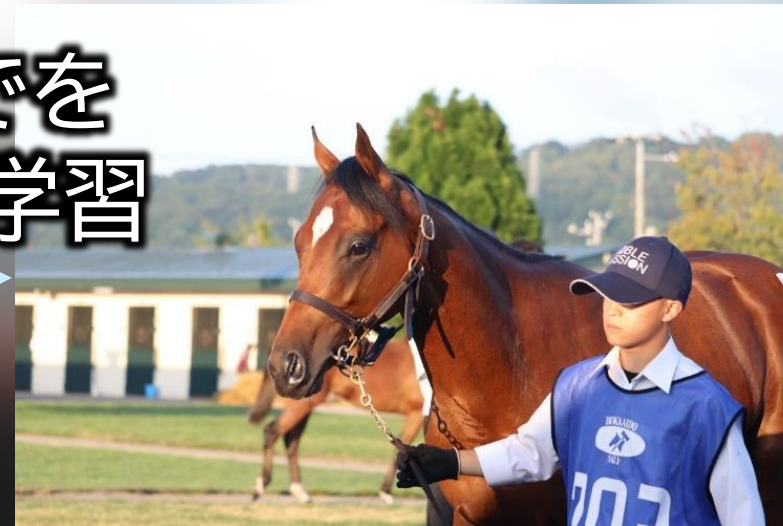
非農家出身の生徒が就農できるよう、就農意欲の喚起と受け皿準備のために実務レベルでの情報交換を実施



# 生産科学科馬事コースの競走馬生産



生産から販売までを  
2年間で一貫して学習



競走馬生産に関する第一人者からの実践的な指導

# 馬事教育の広がり、深まり

- 競走馬のセカンドキャリアとなる引退後のリトレーニングを学習
- エビデンスに基づいた乗馬療育について大学と共同で研究



乗馬療育の研究、交流  
活動への参画



日本古来の鎧を現代の  
デジタル技術で再現

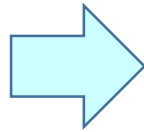


ICTを活用した馬体の  
3Dスキャン

# ICT活用とエビデンスに根ざした教育



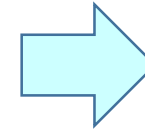
ICT技術を活用した舌長鑑の改良



日本古来の舌長鑑

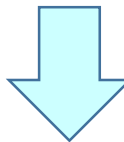


ストレス軽減効果の測定・分析

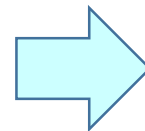


馬名	番	副交感神経									交感神経								
		心拍数			HF補正値 (n.u.)			LF補正値 (n.u.)			心拍数			HF補正値 (n.u.)			LF補正値 (n.u.)		
		前	直後	30分後	前	直後	30分後	前	直後	30分後	前	直後	30分後	前	直後	30分後	前	直後	30分後
A (優等馬)	A 1	95.3545	87.0859	87.558	54.5937	63.9399	71.0868	44.5776	34.3727	28.2714	64.1602	62.8632	75.9687	35.0801	36.4361	23.1476			
	A 2	65.172	57.3198	62.3696	44.4027	77.2335	46.6752	53.8821	22.2033	52.2631	46.4334	47.8187	37.2128	52.3794	51.5985	61.7218			
	A 3	96.0382	83.8951	92.1364	46.4334	47.8187	37.2128	52.3794	51.5985	61.7218	50.7388	81.9593	71.4815	47.84	17.6095	27.9704			
	A 4	95.8217	77.4021	85.6137	27.3995	36.7454	36.0254	71.0941	61.9105	62.4427	86.9694	77.2482	79.1383	27.3995	36.7454	36.0254	71.0941	61.9105	62.4427
	A 5	80.7731	70.3057	76.8952	50.7388	81.9593	71.4815	47.84	17.6095	27.9704	72.7571	68.7175	67.8319	21.5266	37.9313	28.8599	77.5339	61.469	69.5944
	A 6	86.9694	77.2482	79.1383	44.8238	54.4087	38.4344	54.303	44.7892	60.7154	77.8498	71.9537	70.8392	44.8238	54.4087	38.4344	54.303	44.7892	60.7154
	A 7	72.7571	68.7175	67.8319	30.8476	48.6987	23.4266	68.1881	50.0966	58.5614	87.4052	76.1693	82.902	30.8476	48.6987	23.4266	68.1881	50.0966	58.5614
	A 8	77.8498	71.9537	70.8392	68.9183	80.5662	50.8836	30.6991	18.8278	48.0762	61.9333	61.0721	75.3071	68.9183	80.5662	50.8836	30.6991	18.8278	48.0762
	A 9	87.4052	76.1693	82.902	92.7246	94.1288	87.8325	33.4499	41.264	52.902	65.6215	56.7302	43.3165	92.7246	94.1288	87.8325	33.4499	41.264	52.902
B (優等馬)	B 1	61.9333	61.0721	75.3071	64.7222	76.3439	55.5842	34.4939	23.2796	43.3165	73.8739	66.4567	67.3691	64.7222	76.3439	55.5842	34.4939	23.2796	43.3165
	B 2	92.7246	94.1288	87.8325	33.4499	41.264	52.902	65.6215	56.7302	43.3165	87.3777	73.1837	74.7056	37.4365	87.0936	47.3668	60.7893	12.1493	51.1556
	B 3	73.8739	66.4567	67.3691	64.7222	76.3439	55.5842	34.4939	23.2796	43.3165	80.302	72.8102	76.7432	18.0942	35.8285	13.7145	81.0331	63.59	85.4824
	B 4	87.3777	73.1837	74.7056	37.4365	87.0936	47.3668	60.7893	12.1493	51.1556	92.411	90.5408	85.0798	26.9277	56.7462	34.3863	72.013	42.6399	64.2774
	B 5	80.302	72.8102	76.7432	18.0942	35.8285	13.7145	81.0331	63.59	85.4824	79.2347	80.6745	77.8624	44.2356	48.0207	39.9291	54.9716	49.7339	58.8844
	B 6	92.411	90.5408	85.0798	26.9277	56.7462	34.3863	72.013	42.6399	64.2774	61.777	66.4334	64.4071	48.1282	33.5488	38.7337	49.3284	64.8466	58.8666
C (優等馬)	C 1	79.2347	80.6745	77.8624	44.2356	48.0207	39.9291	54.9716	49.7339	58.8844	84.4256	115.9252	92.6093	29.4403	49.0694	34.0049	69.8894	49.5642	64.7441
	C 2	61.777	66.4334	64.4071	48.1282	33.5488	38.7337	49.3284	64.8466	58.8666	84.4256	115.9252	92.6093	29.4403	49.0694	34.0049	69.8894	49.5642	64.7441
	C 3	84.4256	115.9252	92.6093	29.4403	49.0694	34.0049	69.8894	49.5642	64.7441	98.7743	92.6262	82.8867	13.374	20.3203	25.4582	84.7214	78.6966	73.3074
	C 4	98.7743	92.6262	82.8867	13.374	20.3203	25.4582	84.7214	78.6966	73.3074	87.1985	81.549	85.7535	20.7931	42.5321	25.6926	78.5958	57.0219	73.6699
	C 5	87.1985	81.549	85.7535	20.7931	42.5321	25.6926	78.5958	57.0219	73.6699	81.3268	129.4259	87.3552	15.4659	15.4228	13.772	83.8108	83.1536	85.6315
	C 6	81.3268	129.4259	87.3552	15.4659	15.4228	13.772	83.8108	83.1536	85.6315	61.7806	62.7137	61.4732	22.9562	42.2081	45.0194	76.7827	57.3714	54.2207
	C 7	61.7806	62.7137	61.4732	22.9562	42.2081	45.0194	76.7827	57.3714	54.2207	70.0012	70.5913	65.0727	32.6191	18.1018	83.7294	65.7115	80.4635	15.2589
	C 8	70.0012	70.5913	65.0727	32.6191	18.1018	83.7294	65.7115	80.4635	15.2589									

3D鑑を活用した乗馬療育の実践



ホースセラピーのエビデンスに基づいた交流乗馬



北里大学による乗馬療育の講義



生徒が参画する交流乗馬活動の実践



# 地域をけん引する人材育成



# 農場における基盤教育の充実

- 背景
- ① 生徒に幅広く農業の基礎を身に付けさせる必要性
  - ② 地域の基幹産業について理解を深める必要性
  - ③ 生徒が自分自身の関心や適性について考える機会を作る必要性

## 農場における 基盤教育 の充実



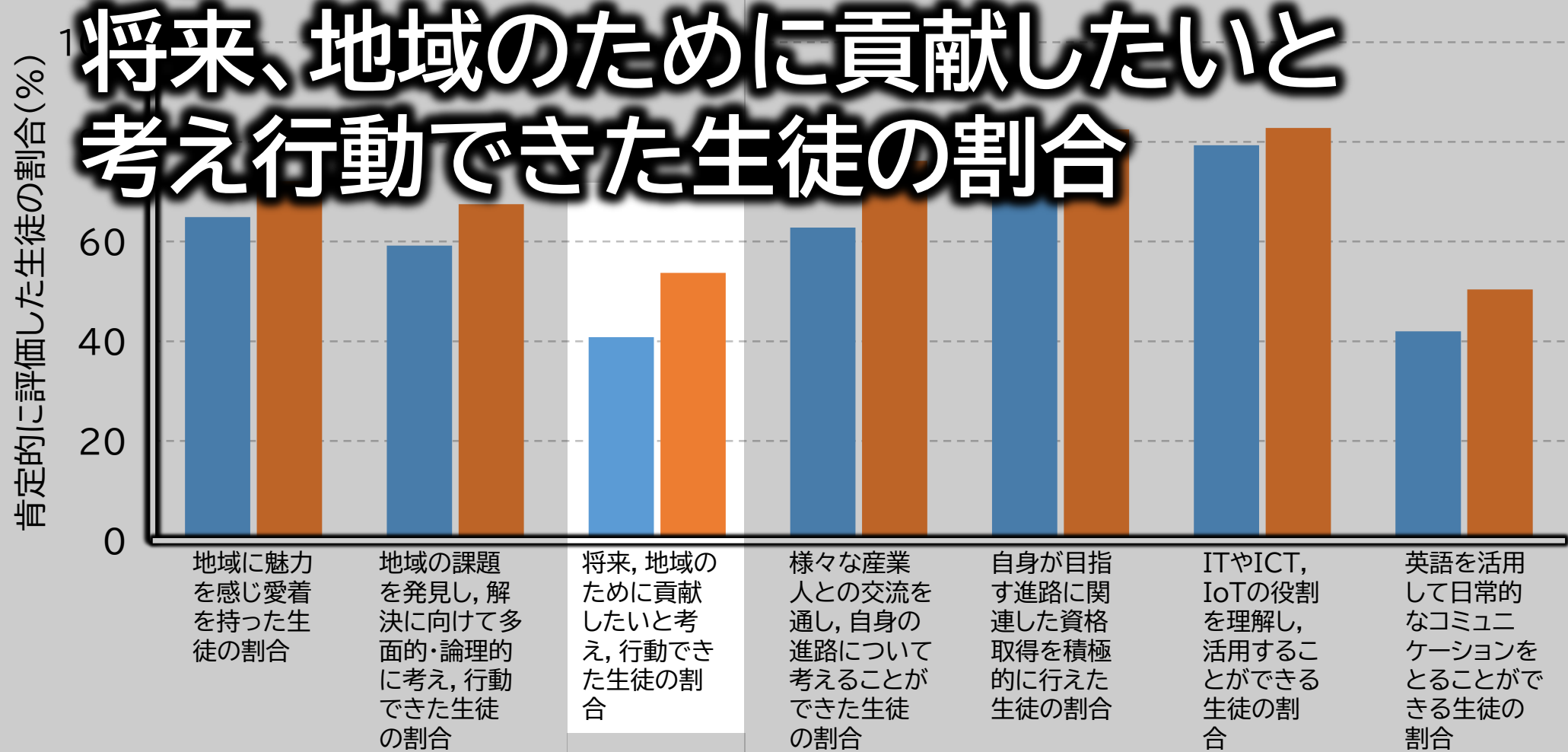
食品、園芸、馬事、乳牛の4分野での展開実習を実施

# 地域をけん引する人材の育成(2年目の課題)

## 課題

肯定的評価をした生徒の割合

■ R4年度始 ■ R4年度末



# 地域をけん引する人材の育成 (1次産業間連携による地域資源理解の試み)

くモリアル  
駿記念館

## 農業用水利施設

水田の維持管理  
水インフラの理解



## サケマスふ化場の見学

日高の水産業、漁場維持のため  
の森林の重要性



## 森林施業地

水資源管理・防災  
パークと馬産の関わり



## ダム

利水・水環境の  
保全

## 農水産物の活用

日高の主要な農水産物、加工  
品、飲食店メニュー、観光

静内エクリプスホテル

## 海産物の実態

漁具や昆布漁の実態の学習



日高振興局  
農務課、林務課、水産課

# グローバル化に対応する人材育成

# 国際交流(短期留学生の受入)



フランスからの留学生との交流

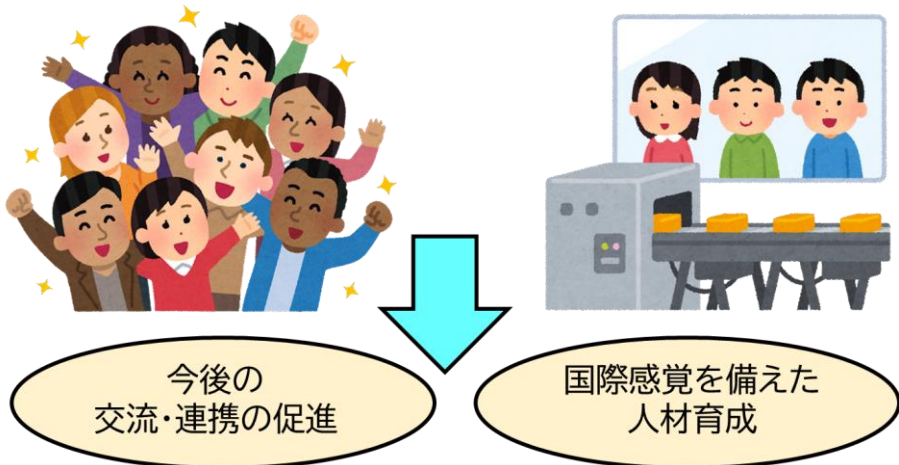
アメリカからの留学生との交流



留学生のご両親に当たるハーバード大学今井教授、デビス教授よりご講演

# 国際交流(農林水産省フランス訪問プロジェクト)

農林水産省就農・女性課の支援により 現地の高校生との交流、施設見学



## ○日仏農業教育連携について

- ・フランスの農業高校視察
- ・ワイナリー、ソーセージ工房などを視察
- ・給食を題材とした和食とフランス流の給食について学習
- ・ホームステイ 等

### シバンス農業高校



### 学んだこと・感じたこと



### リヨン・ポールボキューズ市場見学



### マドモアゼル「陽菜」のホームステイ



# 国際交流 (生徒が主体となった海外渡航)

AIG高校生  
外交官渡米プログラム  
(AIG損害保険株式会社)  
生産科学科2年生1名



ケンタッキー大学  
語学学校の短期留学  
(新ひだか町姉妹都市交流委員会)  
生産科学科3年生1名  
引率教員1名



畜産ティーン  
育成プロジェクト  
(国際農業者交流協会)  
食品科学科3年生1名



畜産ティーン育成  
プロジェクトの様子は、  
こちらから  
「モーモーファイターズ」



# 教育課程の刷新



# 外部企業と連携した学習(1年目)と プロジェクト学習の充実等(2年目)

1年目

2年目



外部講師による授業や企業等の施設の見学、実習

プロジェクト学習への支援、長期休業を活用したデュアル派遣実習



CEO、産業実務家教員の専任、配置



# 普通教科の充実・遠隔授業配信システムの活用(3年目)

実施時期:夏期および冬季休業中

実施教科:1年数学(発展)・1年英語(発展)

受講者数:数学1年生1名、2年生3名

英語2年生4名

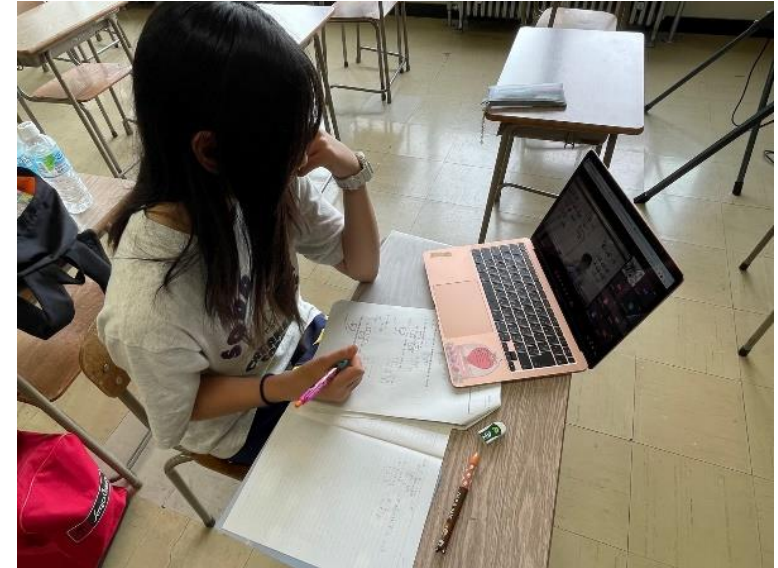
オンラインによるライブ配信

数学:展開・因数分解、方程式・不等式  
式の値など、順列、組み合わせ

英語:模試対策①～⑤

実施の効果

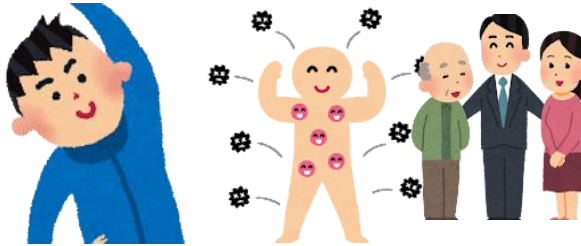
- ① 遠隔授業配信システムの必要性を認識
- ② 本校の教員にとっても貴重な研修の機会



# 教育課程刷新の方向性(探究型学習の充実)

## 教科等横断的な 学習の充実

- 新たな探究型学習の導入  
理数探究→「数学」と「理科」  
健康福祉→「体育」と「家庭科」



## 探究型学習の充実 思考・判断・表現

## 個別最適な学びの実現

- 「数学Ⅱ・B」、「生物」など  
大学進学後を見据えた学  
力養成



## 「国際理解」の科目設置

- 馬産地における外国人  
との共生をテーマにし  
た学習



## 課題研究の充実(増単)

- 企業や団体と連携した指  
導方法の改善と充実



## 異年齢集団による活動

- ICTを活用した交流(授業改  
善・距離に左右されない交流の  
実践)
- 防災など地域課題を題材にし  
た交流の実践



# 「農業と環境」、「プロジェクト学習」を活用した生徒一人ひとりの探究型学習

- 背景 ① 学習指導要領においてその充実を図る旨の記載  
② 予測不可能な社会を生きるため、課題を発見し解決する力の必要性

従来からの取組



1年次

「農業と環境」  
カボチャの栽培を題材  
学科ごとの一斉指導



2年次

「課題研究」  
学科やコースに応じた課題設定  
少人数グループ別の指導



3年次

今年度からの取組



1年次

「農業と環境」  
カボチャの栽培を題材  
学科ごとの一斉指導



2年次

「課題研究」  
学科やコースに応じた課題設定  
少人数グループ別の指導



3年次

「課題研究」  
一人1テーマ1研究1発表  
2年次の研究の延長・発展  
個別の指導

# 外部関係者と連携したグループワークの試み

- 北海道総合政策部、日高振興局地域政策課、マイスター・ハイスクールハイスクール事業の関係企業・団体が生徒と直接的にディスカッション
- 地域産業の未来像を実現するため、マイスター・ハイスクール事業の学びを活用して、地域の5年後10年後の未来の姿やそこへの関わり方を考える



北海道総合計画を  
テーマとしたグループワーク



「10年後の日高を考える」を  
テーマとしたグループワーク



# 3 マイスター・ハイスクール終了後に向けて 3年間での変化

# 「商品開発」における学びの変化(食品科学科)

## MH取組み前

- ・限られた研究班が学びを体験
- ・原材料生産に関する研究班もあり地域資源の活用は低迷気味

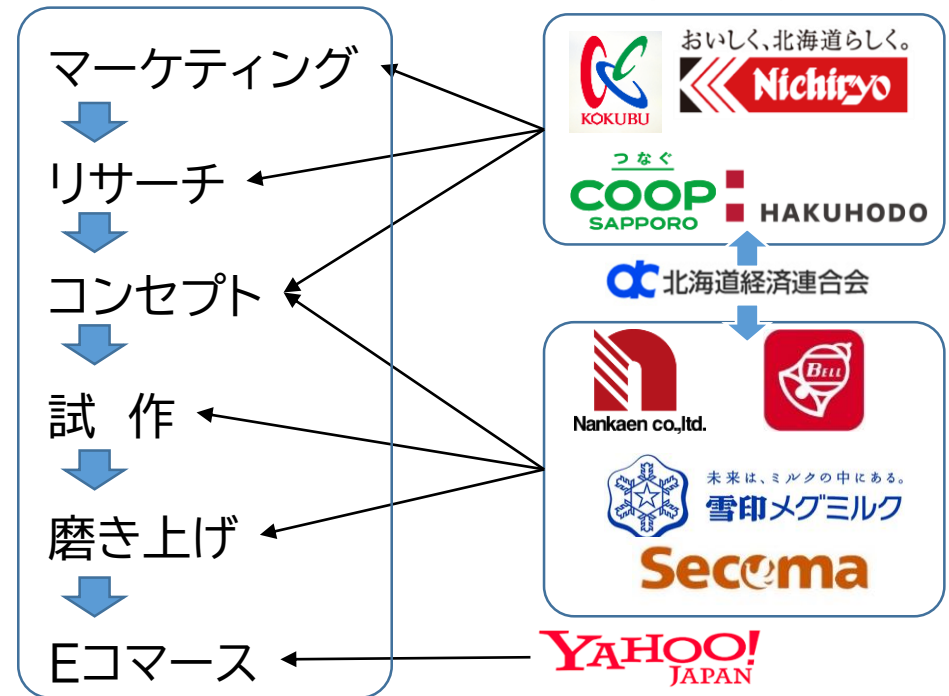


町内の商工事業者と連携  
試作品の評価等学習範囲は限定的

## MH取組み後

- ・食品に関する4つの研究班を開設
- ・授業や研究班単位で学科の全生徒が学びを体験
- ・様々な考え方や技法を学び地域資源の活用が活性化

産業界と一体化した一連の学習活動

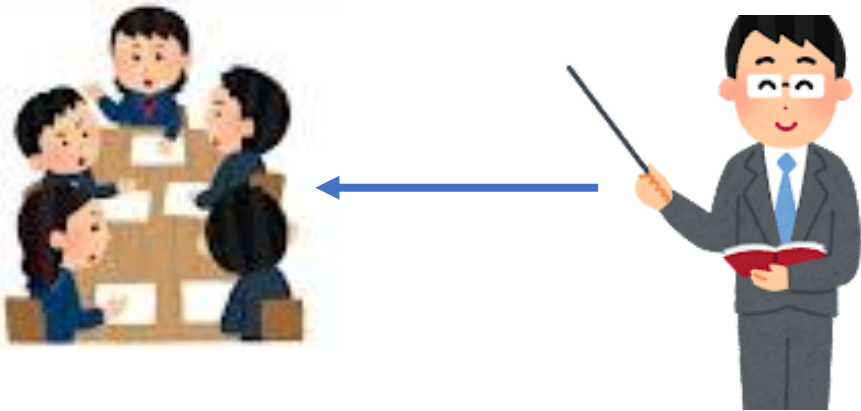


- 企業等の高度な知識や技術に触れ、生徒の意欲が高まる「主体的な学び」を実現
- 地域資源を活用した商品開発により新たな価値を創造し、「対話的・で深い学び」を実現

# プロジェクト学習における学びの変化(園芸コース)

## MH取組み前

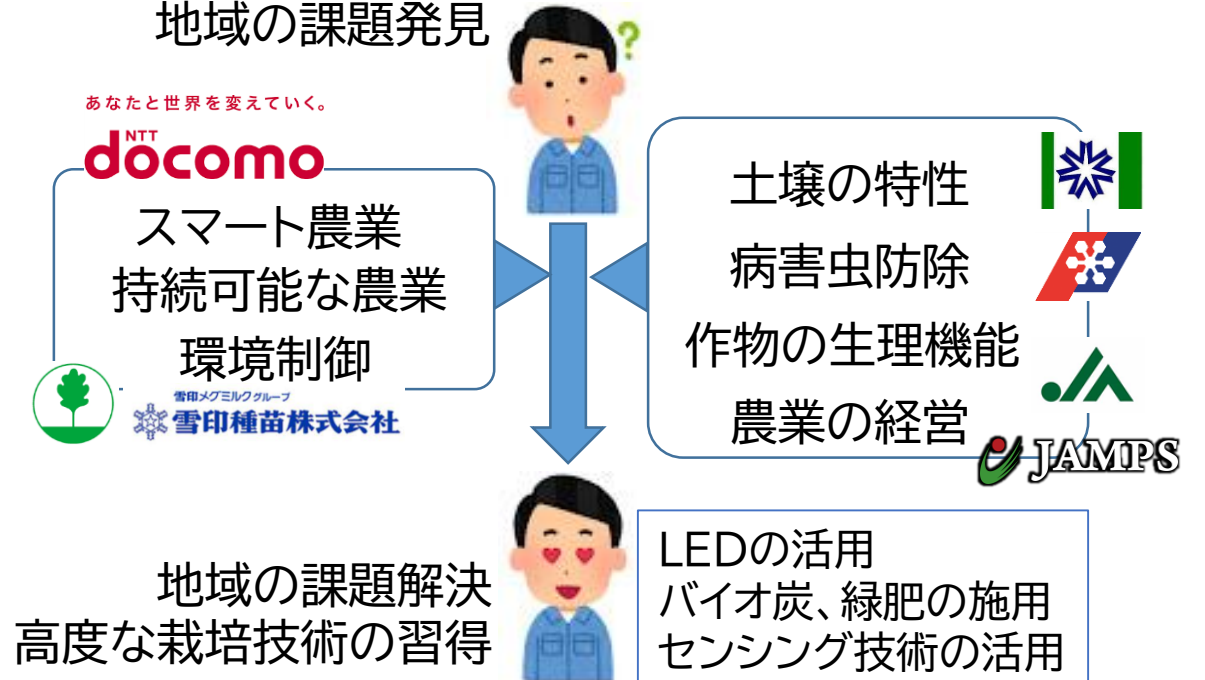
- ・限られた研究班が外部と連携した学びを体験
- ・地域の生産者や研究機関との関わりは薄く、栽培技術や生産状況は低迷気味



- ・酪農学園大学と連携(教授型)
- ・試験計画のデザインや生理機能などについて講義

## MH取組み後

- ・授業や研究班単位で園芸コースの全生徒が学びを体験
- ・様々な技法を学び地域農業の活性化に貢献  
地域の課題発見



地域の課題解決  
高度な栽培技術の習得



- ものの見方や考え方の深まりと新しい気づきにより「主体的な学び」が充実
- 学びと実践の融合、専門家との意見交換により「対話的で深い学び」を実現



# 広がりと深まりの変化(馬事コース①)

## MH取組み前

- ・JRA・JBBAは継続的に本校の馬事教育に関与
- ・連携や支援、学習の範囲は現在よりも限定的

支援団体



繁殖・交配

離乳馬の調教

栄養管理

## MH取組み後

- ・繁殖から販売までの学習の軸を中心に専門的プログラムが充実
- ・競馬産業への理解を深めるなど学習の幅が拡大

交配理論

繁殖生理

種牡馬の選定

日常管理・初期育成  
発育生理・躰

中期・後期育成  
引き馬展示・駐立展示

栄養生理

BCS測定

放牧技術・放牧地管理

競馬産業の実態  
乗馬療育 リトレーニング

海外の競馬産業  
馬体の解析(ICT)

目指す姿



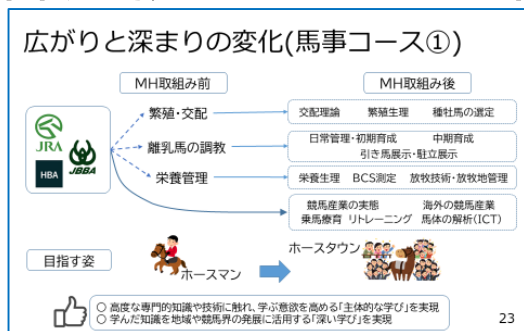
ホースタウン



- 高度な専門的知識や技術に触れ、学ぶ意欲を高める「主体的な学び」を実現
- 学んだ知識を地域や競馬界の発展に活用する「深い学び」を実現

# 広がりと深まりの変化(馬事コース②)

## 外部連携の広がり、深まり



+

## 産業実務家教員による指導



## エビデンスに基づく 専門科目教育(EBE)の実践例



馬体の解析



交配理論



レントゲン診断



治療、予防技術



ワクチネーション



繁殖生理



- エビデンスに基づく高度な専門的知識により「見方、考え方」が変化
- 学んだ知識がプロジェクト学習などに結びつき「対話的で深い学び」を実現

# 学びの展開の変化

学びの質の向上



実践的・体験的な  
学習の推進

主体的・対話的で深い学びの実現

課題解決型学習の推進

キャリア形成能力の向上

デュアル派遣実習

プロジェクト学習の充実

エビデンスに基づく教育

専門教育の充実

eコマース

英語教育

産業界



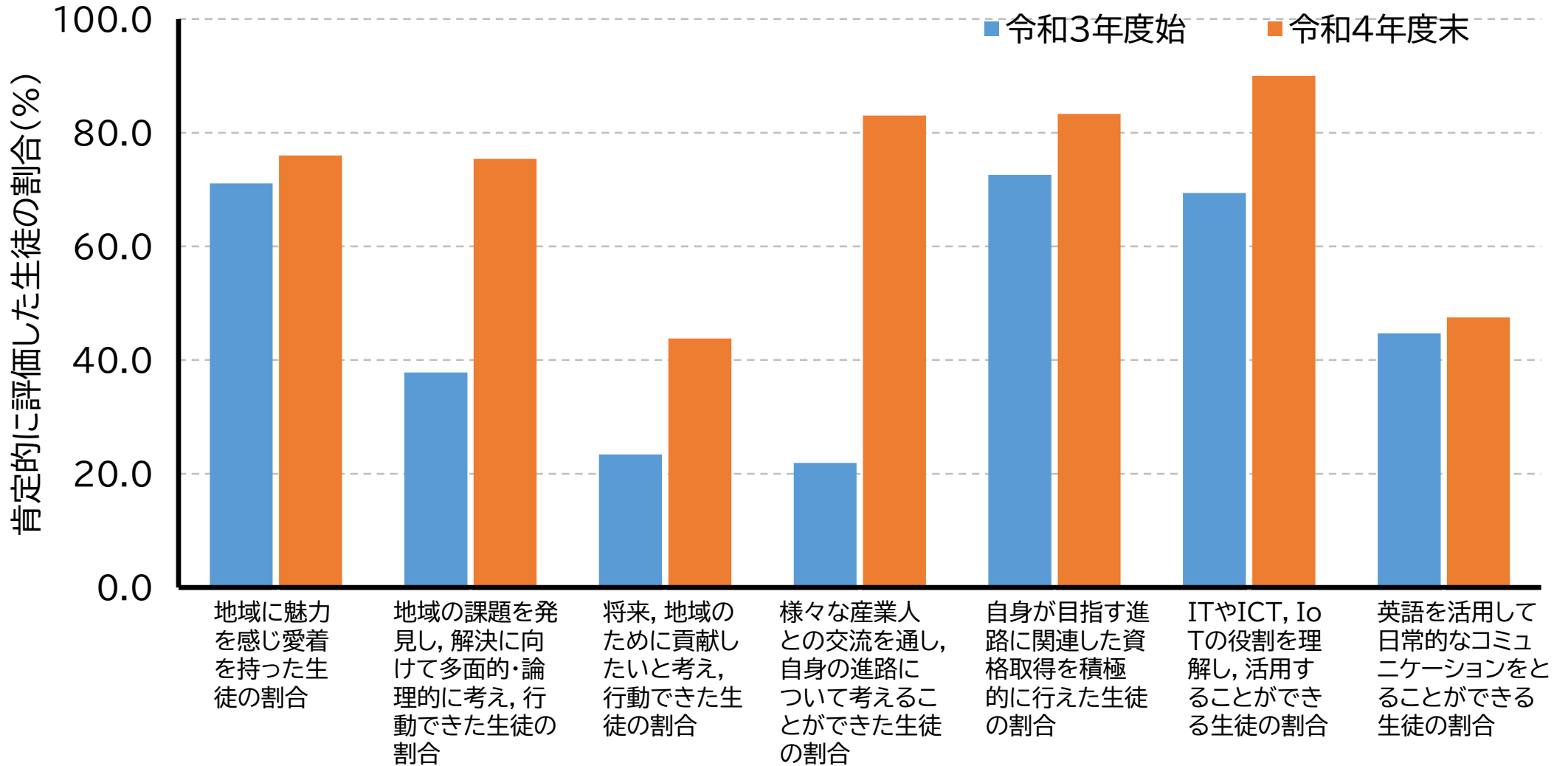
学校



マイスター・ハイスクール事業の取組

# 生徒アンケートの結果(令和3年度入学生の意識の変化)

## (現3年生) 令和3年度事業開始当初と令和4年度事業終了直前の変容



# 企業との連携した学習の取組から見た生徒の変化



国分北海道株式会社

国分北海道株式会社

食品卸売業としてメーカー商品を取り扱うとともに「K&K」をはじめとする国分ブランド商品の開発、販売を行っている。

国分北海道との連携内容

商品開発におけるマーケティングの理論、国分北海道における商品開発の取組、食品表示、物流センター視察等



商品開発に関する講義



物流施設の視察

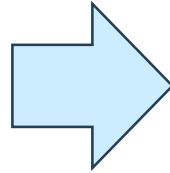


諏訪社長による講演

# 生徒の感想や質問の変化

## 事業1年目(1年生時の7月)

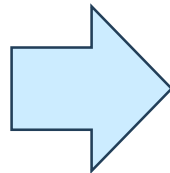
- 社内でのコミュニケーション能力やプレゼンの能力が必要となる」
- 「マーケティングの話が専門用語ばかりで難しかった」
- 「パッケージにこだわらなければいけない理由がわかった



## 事業3年目(3年生時の8月)

- 「誰かが失敗したとき感情的にならないように心がけていることは？」
- 「グループでの話し合いでみんなに意見を出してもらうには？」
- 「協調性がない人ややる気がない人がいるときどのようにいい雰囲気作りをすればいいですか」

習ったことを身に付ける  
講義内容の反復

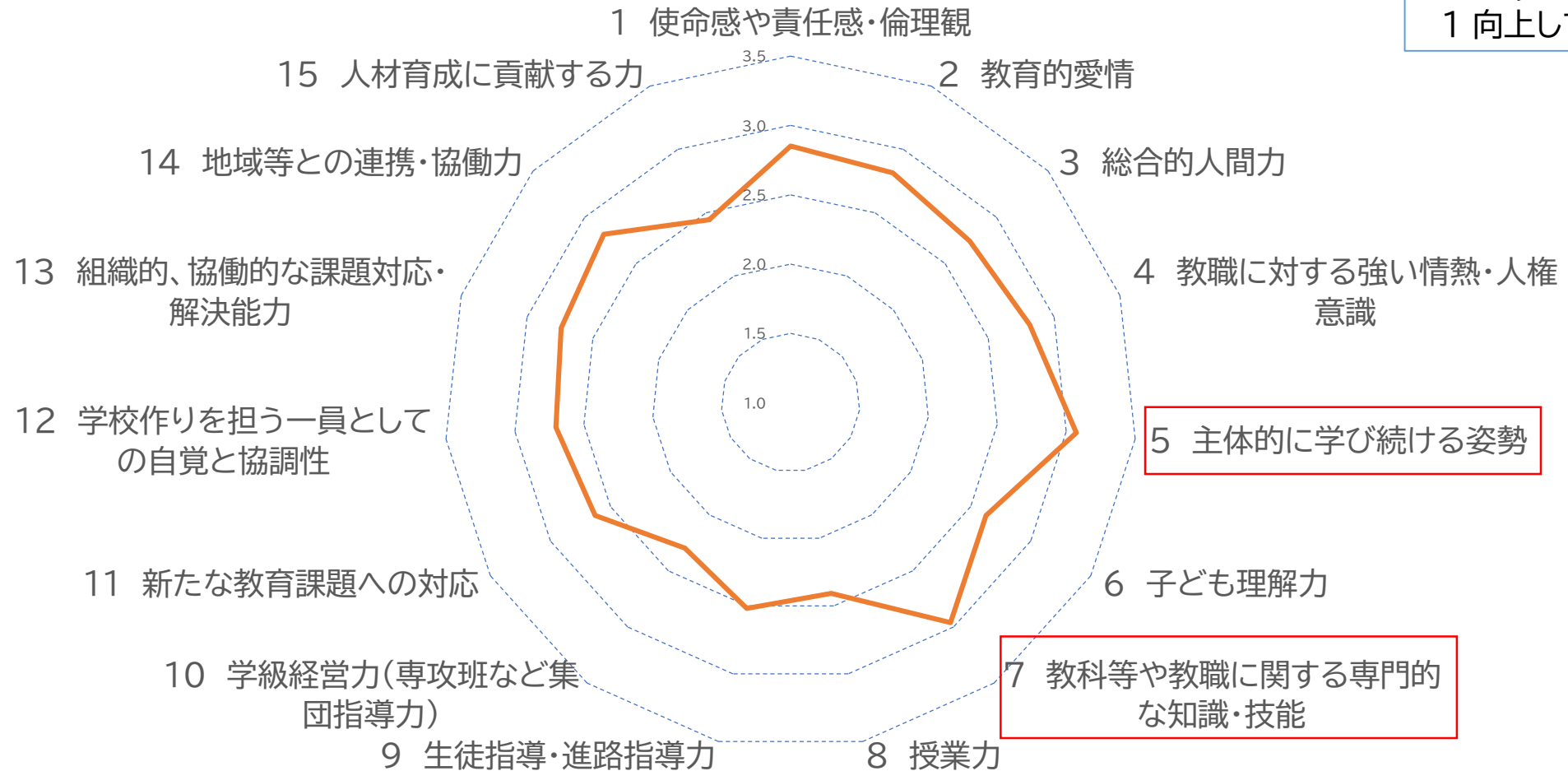


「協働」「リーダーシップ」  
学びを実社会で生かそうとする姿勢

# 教員自身の物の見方や考え方の 変化に関する調査結果

指標

- 4 大いに向上した
- 3 向上した
- 2 わずかに向上した
- 1 向上していない



# 先生方のコメントより

- 「地域を知ること，地域を支える企業を知ること，そして，地域や企業を支えていく一員を育成すること」という観点で教育を考えることが大切であることをより一層自覚するようになりました。(30代)
- 農業高校を選択して入学したのであれば，農業を仕事にする魅力を伝えたい。また，就農を目指している生徒にも，学ばせるべき内容や，進路について日頃から考えるようになった。(30代)

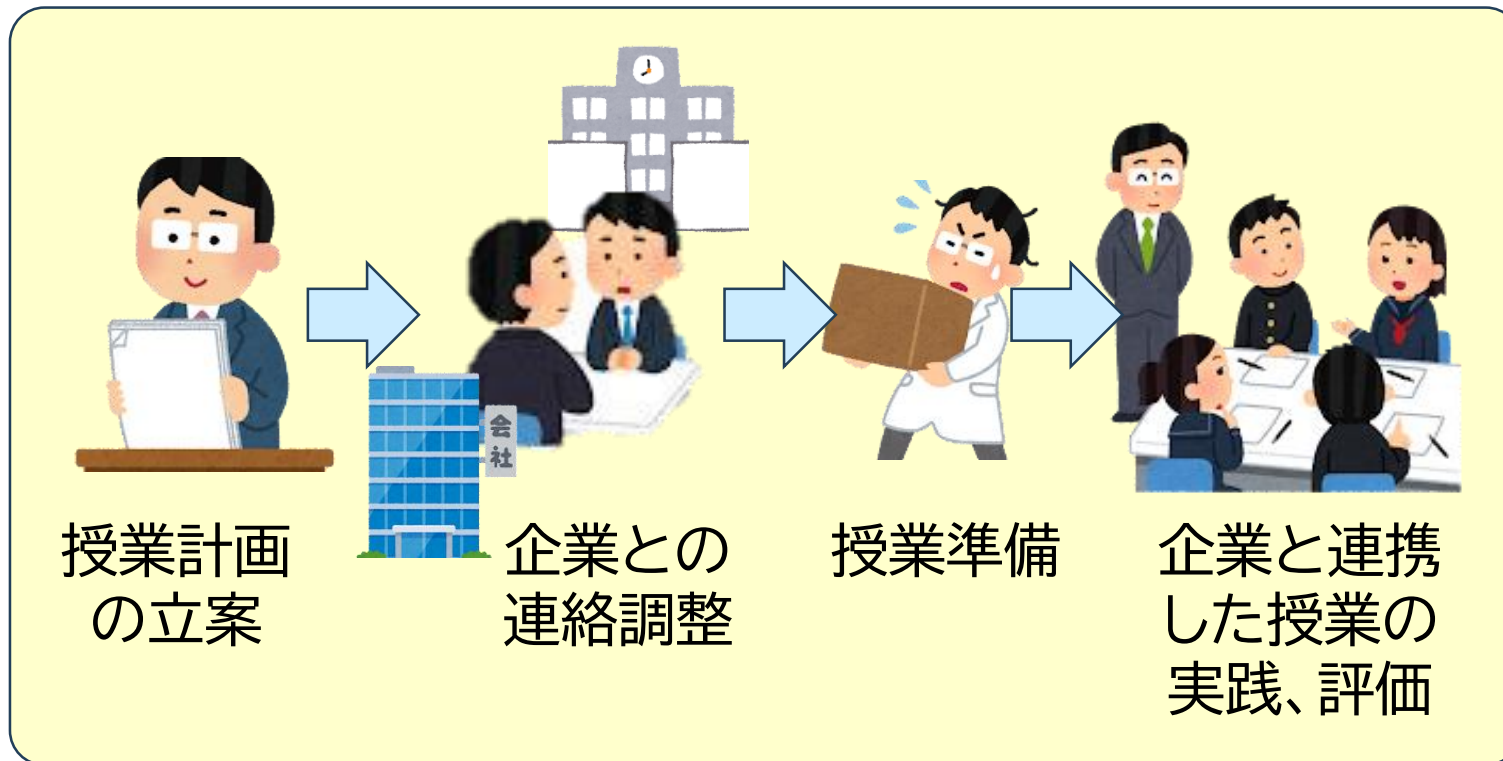


- 事業の中で、日本の教育の課題から、農水省の課題を絡めて考えるようになり、農業高校の果たすべき役割について改めて考えなおし、農業高校に入学した生徒は未来の人材として尊重して接するように考えるようになりました。(30代)
- 企業と事業を行っていく上で、情報収集は必要不可欠であり、生徒に情報収集力を身に付けさせる立場として、どのように収集したら良いか改めて感じる事ができた。(30代)
- 特に留学生の受け入れを行い、学校内の閉じた環境で行われる教育よりも学校のある地域の方と協働して行う教育には非常に大きな効果があると体感しました。(40代)

# 教員に対する人材育成効果

学習指導要領より抜粋

「生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを旨とする。その際、求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること」



# 企業・地域の変化 企業からの意見

## <3年間を通して>

生徒達の力は伸びている。農業高校と産業界が一緒の方向に向けるようになったのではないか。(雪印メグミルク) 生徒、先生方の知識の幅が広がった・生徒の進路につながっていければ良い。(北海道経済連合会)

## <企業のメリットについて>

若い社員が外部講師として生徒に説明する中で自分の会社の価値に気づき社会の役に立っていると認識できた。(国分北海道)

## <人材育成への期待>

研究員のアドレスは退職まで変わらない。どこにいても長いつながりになれば良い。静内農業高校での人と人のつながりの輪が全道に広がれば良い(雪印メグミルク)

## <終了後の対応について>

本事業は学校と企業が連携していく入り口、今後も双方メリットがあれば連携していきける(国分北海道)

# 企業・地域の変化 JA・軽種馬関係団体からの意見

## <3年間を通して>

本事業が連携強化のきっかけとなった。先生と顔が見える関係となり、話がはやくなってきた。(JAしずない)

担い手育成に関しては、本会理事長も危機感を持っており、今後も前向きに協力していく。馬産地での人材育成は重要。(JRA日高育成牧場)

## <団体におけるメリット>

若い職員が外部講師を担当することで、人に伝える力、そのために考えをまとめる、説明資料づくりをすることは職員のためになる。生徒に伝えることは将来の担い手に向けての対策となる。(JRA日高育成牧場)

# 企業・地域の変化 自治体からの意見

## <町内関係事業者の変化>

生徒の変化とともに、事業者と農高との関わりが強くなった。(町づくり推進課)

## <担当職員の変化>

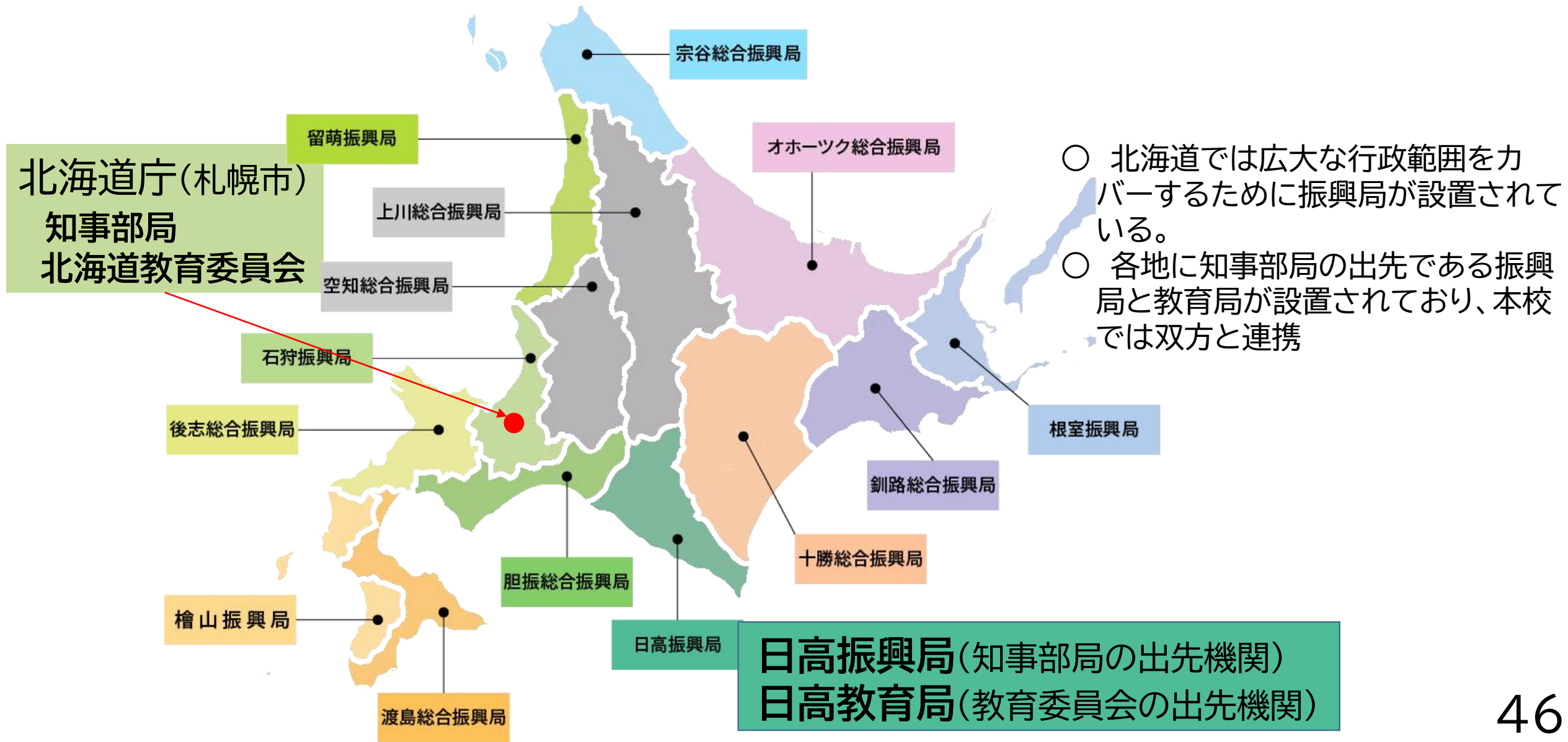
担当職員が生徒とともに商談会や販売会に出張。準備は大変であるが当初の「とまどい」から「自信」がついてきているよう。(町づくり推進課)

## <終了後の対応について>

農業高校に関わり、継続していくことの重要性を認識しその覚悟を感じている。(町づくり推進課)



# 北海道における行政・教育機関



# 企業・地域の変化 知事部局からの意見

## <生徒の変化>

プロジェクトや意見発表の審査員をしてきているが、着眼点や発想の広がりが出てきた。先生と生徒でいい循環になっている。

## <先生の変化>

わからないことを聞かれることがあるが漠然としていない。聞かれ方の具体性が違ってきている。質疑の準備として栽培履歴や圃場のデータなどを持って質問している。

## <職員の変化>

職員は農業高校はいろいろな事をするんだな、いろいろなことができるんだなと認識。関わりを持つことで仕事の裾野が広がりを持つものと考えられるようになってきた。

## <関係性の維持について>

成果を期待していくため、人事異動で途切れないようにするためには、外部関係者と必要性を共有する必要。

# 持続可能な エコシステムの構築に向けて



# マイスター・ハイスクール事業の実践により 学習指導要領の理念を実現

## カリキュラム・マネージメント



必要な資質・能力の育成

「社会に開かれた教育課程」の実現

# 横展開を見据えたコンパクト化と教育水準の維持

## 創意工夫ある取組の実践

横展開を見据えたコンパクト化、現在の教育水準の維持・向上

### 企業・団体(産業界)



専門的職業人材の派遣による専門的で深い知識や技術の提供

専門的な知識や技術を身に付けた生徒の育成、就職

- 人材育成の理念の共有
- 育てたい人物像、身につけるべき資質・能力の明確化

### 学校



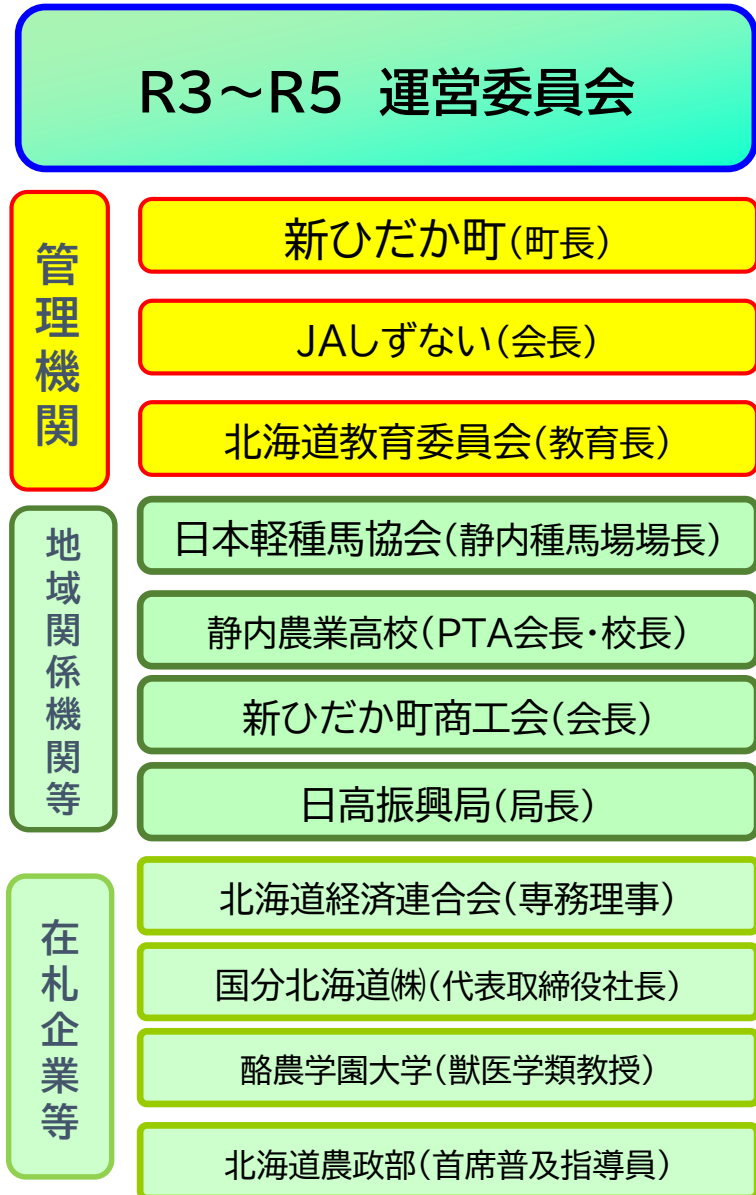
- エコシステムを活用した専門的な授業
- 郷土愛を醸成する探究的な学習の充実

### 生徒の期待

- 主体的・対話的で深い学び
- 専門的で深い知識や技術
- 静内農高や日高でしか経験できない学び
- 進路の幅を広げる学び



# 運営委員会の機能継承(案)



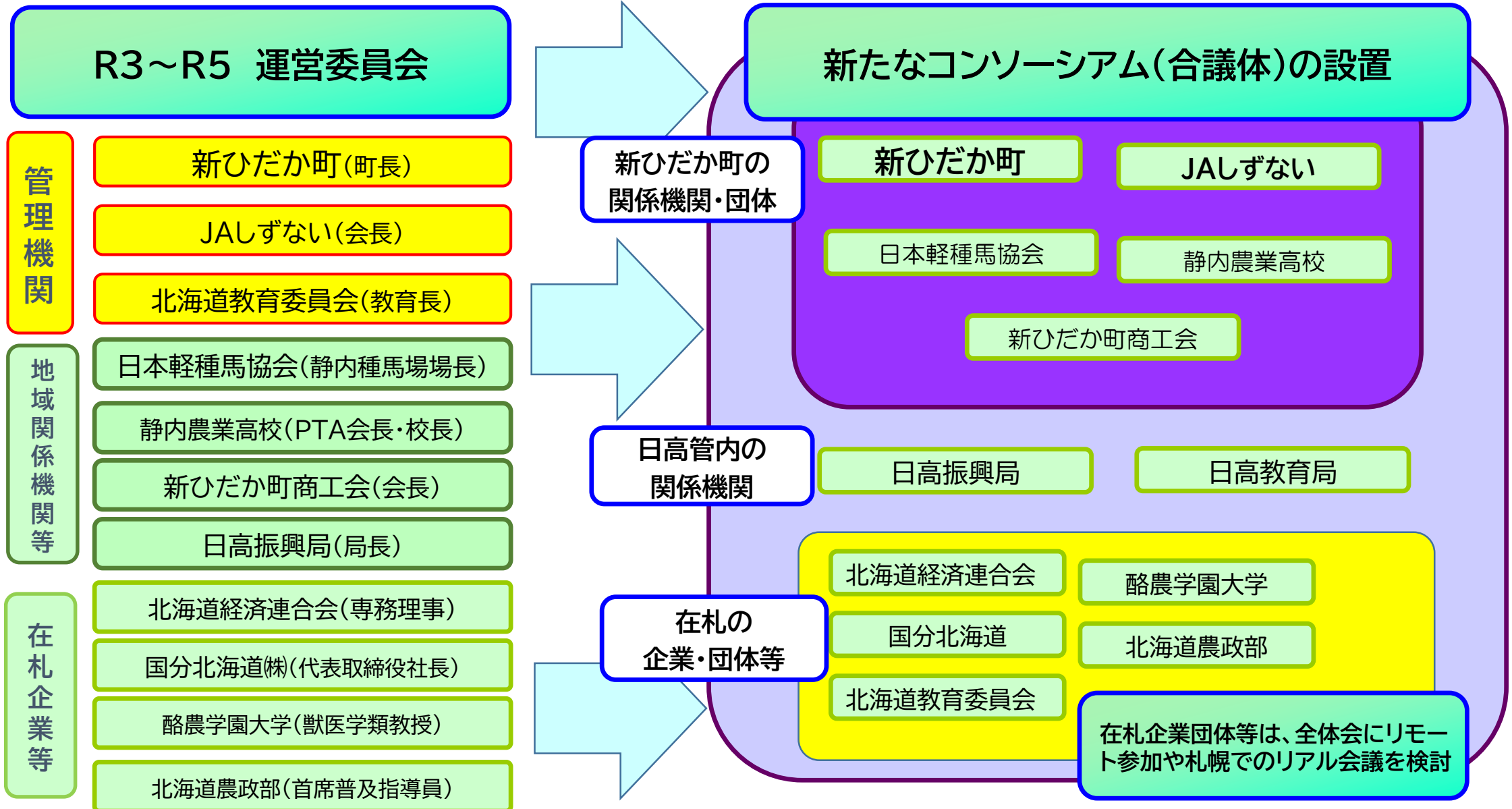
## ○現状

- ・管理機関を北海道教育委員会、新ひだか町、JAしずないが担うことで取組は大きく拡大
- ・指導助言とともに連携推進に大きな役割
- ・JRA、JBBAなどの全国組織からの支援(馬事教育)

## ○機能継承のポイント

- ① 出席委員の負担
- ② 開催主体の機動性の確保
- ③ 他校での横展開

# 運営委員会の機能継承(案)



# 機能と役割分担の見直し

## 公募にあたって文部科学省より示された機能・役割

① 5年後10年後を見据えた高校段階で育成すべき人材像の検討

② マイスター・ハイスクールビジョンの策定

③ ビジョンの進捗管理

④ 事業の検証・評価

R6～ コンソーシアム(合議体)  
(全体会:年1回)

推進管理/評価  
を主体とした組織

事業推進を  
主体とした組織  
※PDCAとしての  
評価は継続

農場長を中心とした運営管理

## 文部科学省より示されていないが重要な機能・役割

⑤ PDCAの過程で取り組むこととなった課題の解決

コンソーシアム小委員会(仮称)(部分開催・多頻度・リモート併用)

時々の課題を解決する機動性(迅速な意志決定・実効性の担保)に優れた組織づくり  
※課題に応じ参集範囲を限定し、頻度高く、柔軟に打合せができるエコシステムの構築

学科長やコースの担当、教科主任を中心とした運営管理

# PDCAの課程での新たな取組(事例)

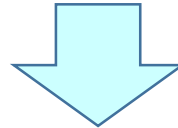
## ⑤ PDCAの過程で取り組むこととなった課題の解決

食品企業で  
学びたい!



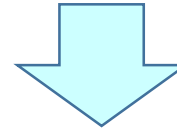
在札企業での  
デュアル派遣実習

将来就農したい!



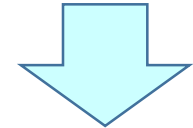
就農までの具体的な  
道筋を検討

環境に優しい  
農業を学びたい!



バイオ炭の教材化

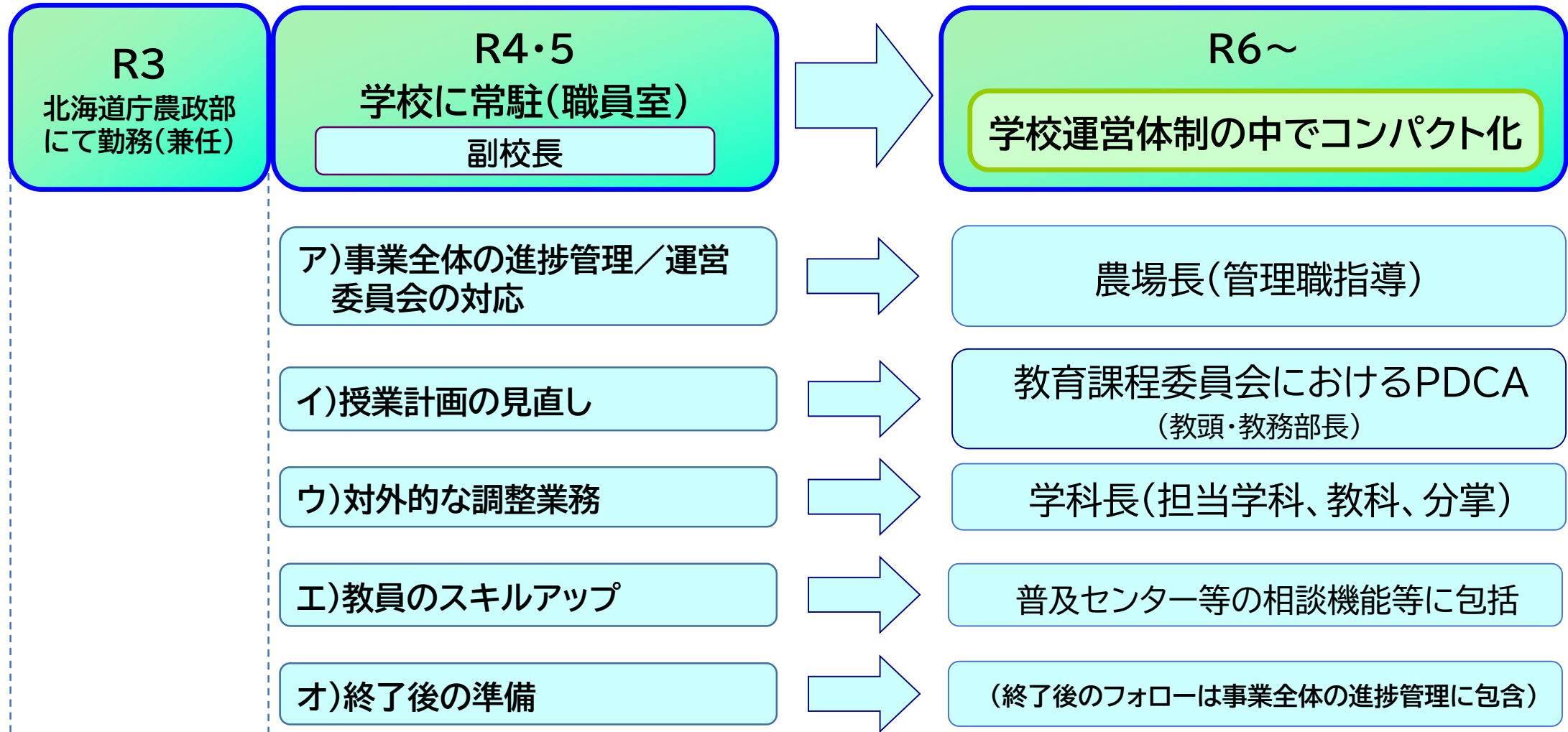
作った商品を  
売り込みたい!



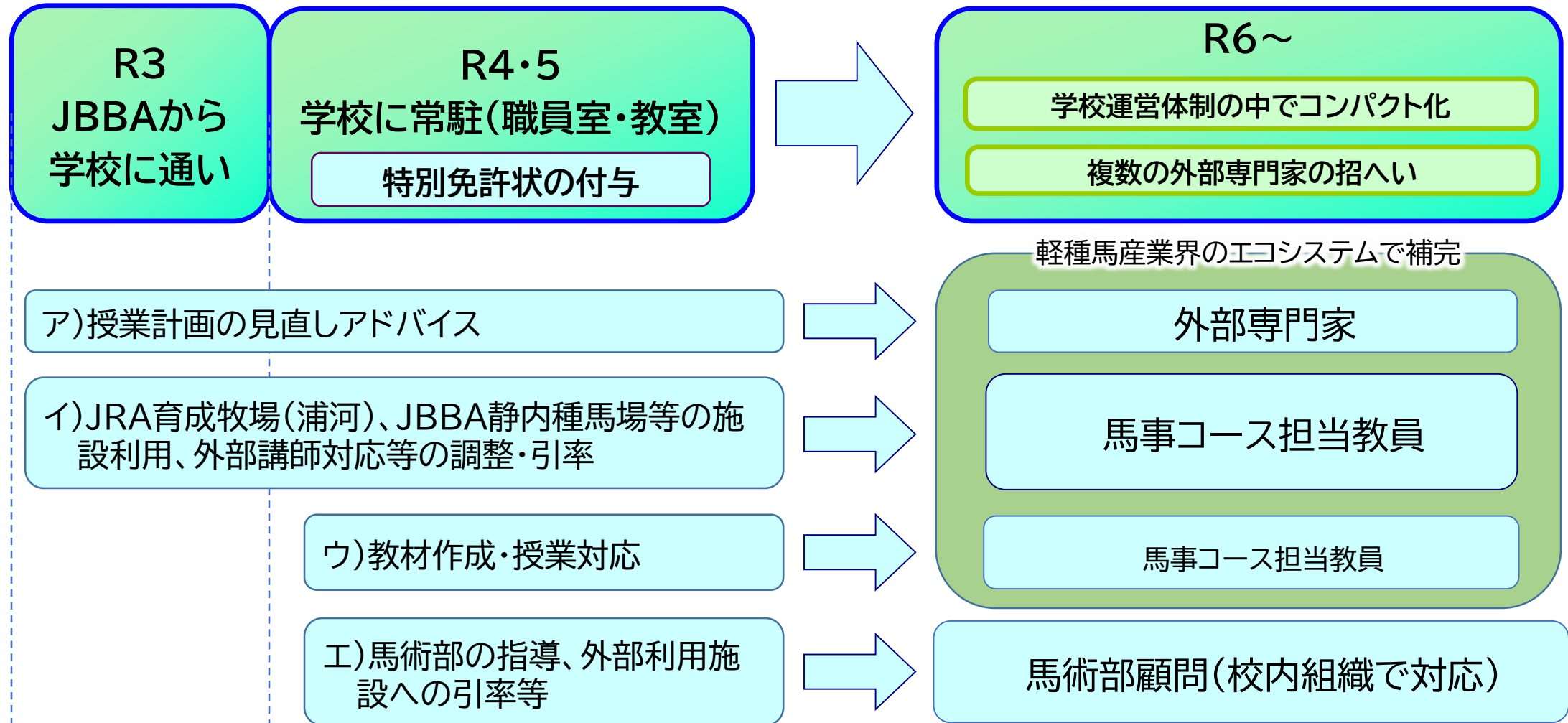
商談会への参加  
道外での販売会

トップを務める団体・企業等の職員・社員による迅速な対応

# CEOの機能・役割の見直し



# 産業実務家教員の機能・役割の見直し





# 検討している財源確保策(事例)

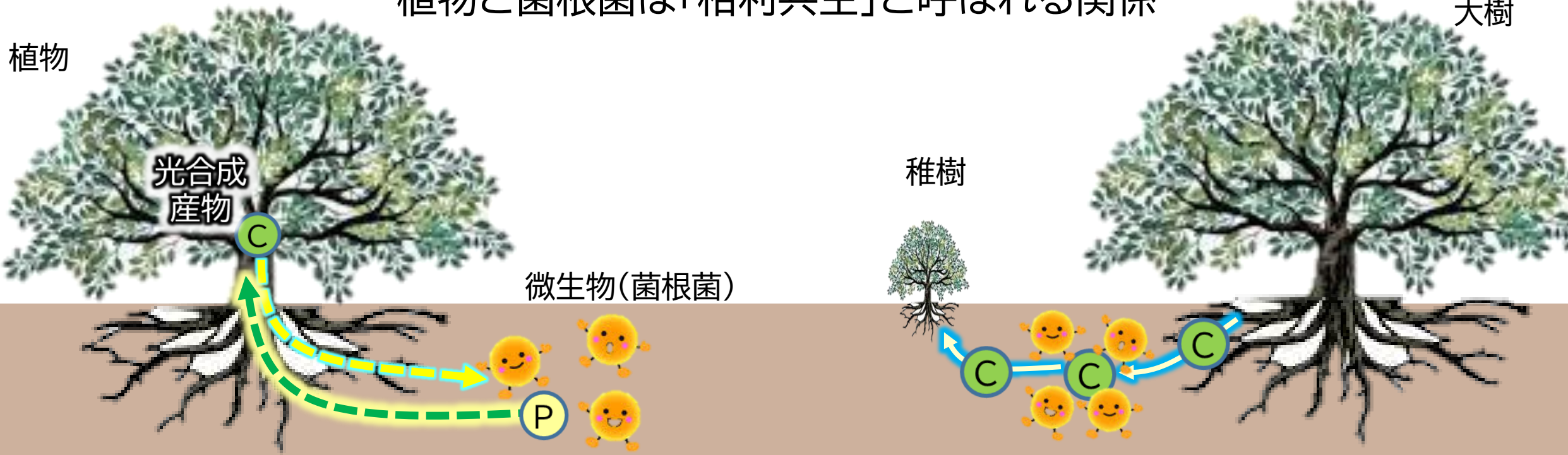
- ① 教育振興会を事業主体とした支援
- ② 町などの外部機関が主体となった支援
- ③ 協議会方式による支援
- ④ 事業実施によらない支援(振興局、道経連等)
- ⑤ 社会貢献にねざした支援(ロータリークラブ、日高信金等)
- ⑥ 北海道立学校ふるさと応援事業
- ⑦ クラウドファンディング
- ⑧ 教育庁の事業予算の活用

改めて「エコシステム」を考える

# エコシステムの一例(農学の知見から)

— 農作物は土壌とともに生きている —

植物と菌根菌は「相利共生」と呼ばれる関係



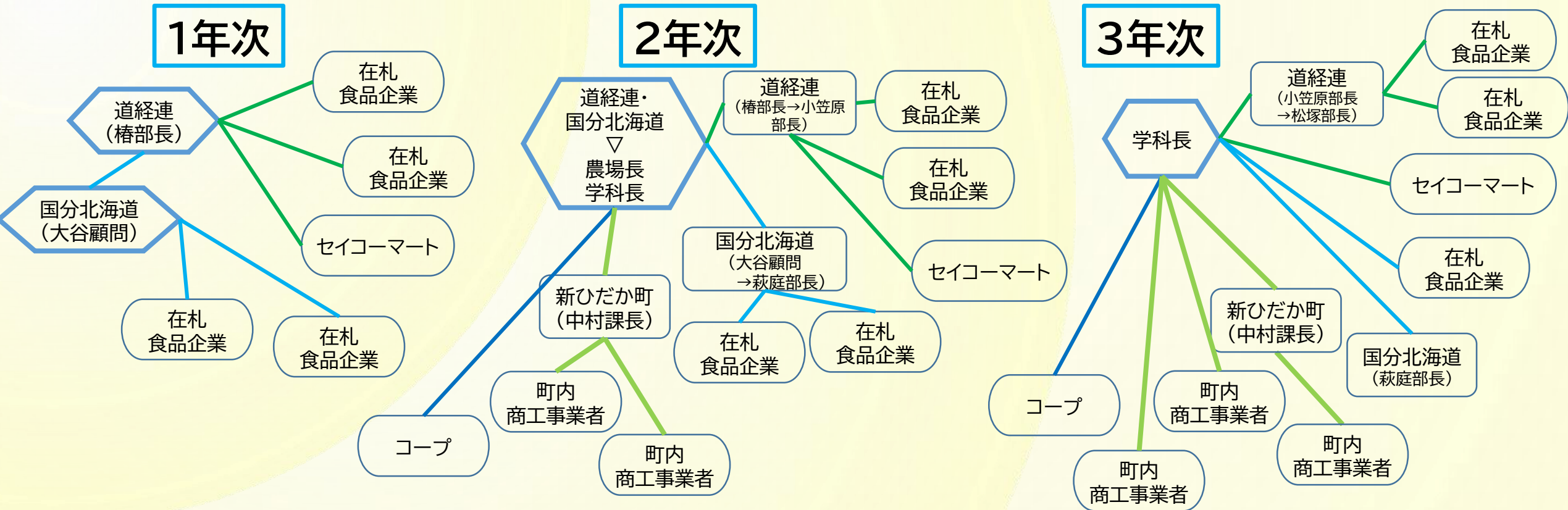
植物と菌根菌は「相利共生」と呼ばれる関係

- 植物は微生物に光合成による栄養素を供給
- 微生物は酵素の力で植物が利用できる形の窒素やリンを供給

大樹と稚樹は「菌根ネットワーク」により連携

- 菌根菌の菌糸が大樹と稚樹を繋いでいる
- 稚樹は土中の栄養に加え、大樹からの栄養供給で成長

# 学校と産業界の関わりの変化(食品科学科)



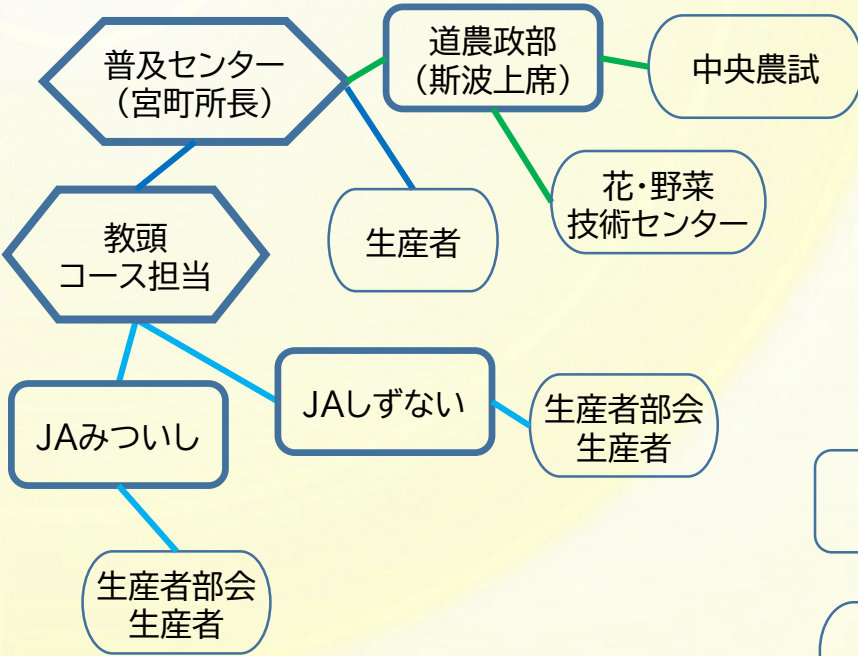
○道経連、国分北海道のキーマンがハブとして機能し、連携体制を構築

○道経連、国分北海道のハブ機能を農場長、学科長に移しつつ、道経連、国分北海道に加え新ひだか町を中心に町内商工事業者とのつながりを強化

○ 校内のハブ機能は学科長に移行、在札企業、町内商工事業者とのつながりも強化。道経連、国分北海道においては、確実な引き継ぎによりつながりを維持

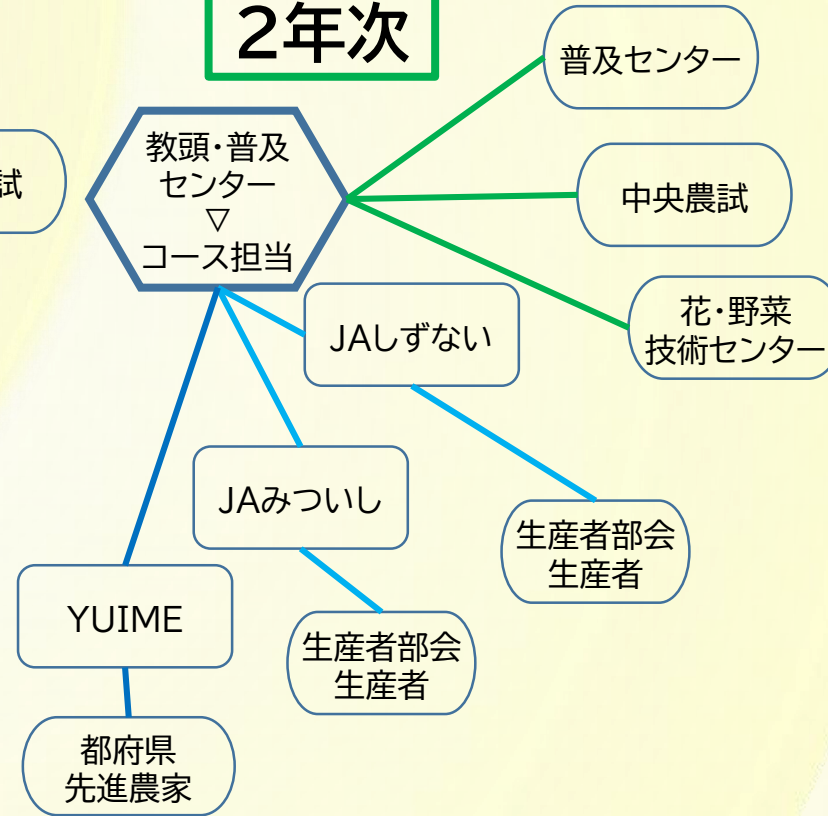
# 学校と産業界の関わりの変化(生産科学科園芸コース)

## 1年次



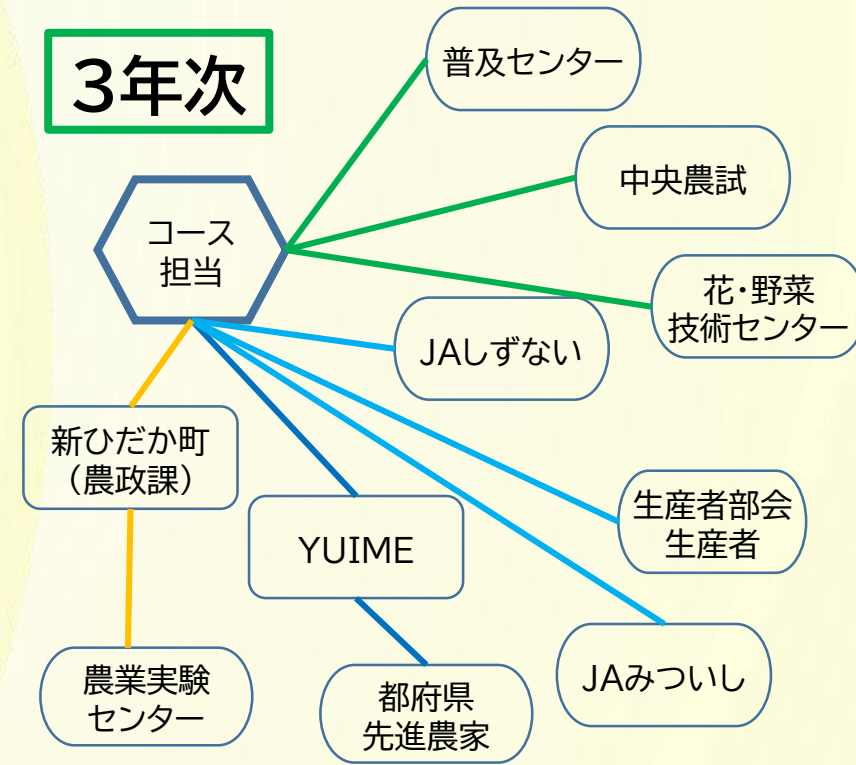
○ 普及センター所長が、道農政部、道総研等の機関のハブとなり、JAへの調整を行う教頭・コース担当のハブと連携

## 2年次



○ 普及センター所長、教頭の機能をコース担当に移行しつつ、担い手育成を強化するためYUIMEと連携するなどつながりを拡大

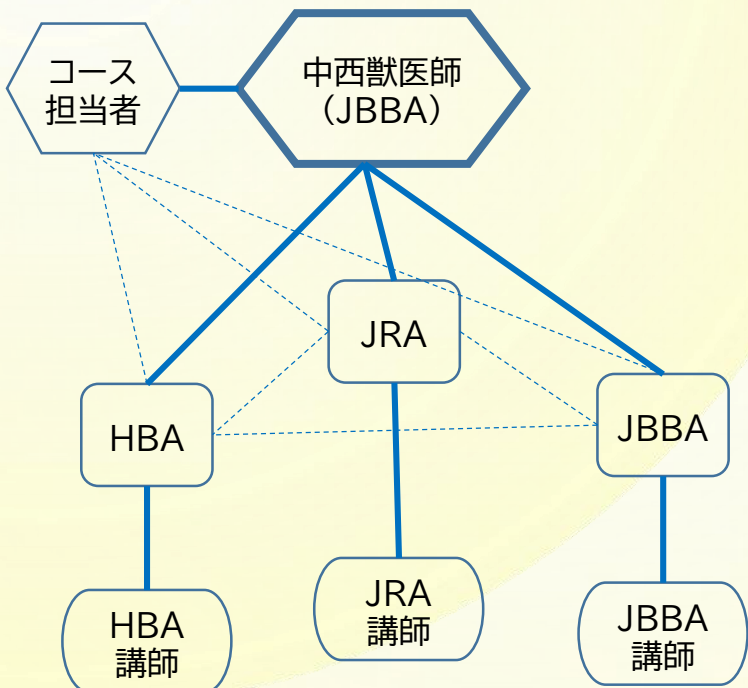
## 3年次



○ コース担当がハブとして機能し、前年度までのつながりを強化、新ひだか町(農政課)及び町農業実験センターとの連携を拡大

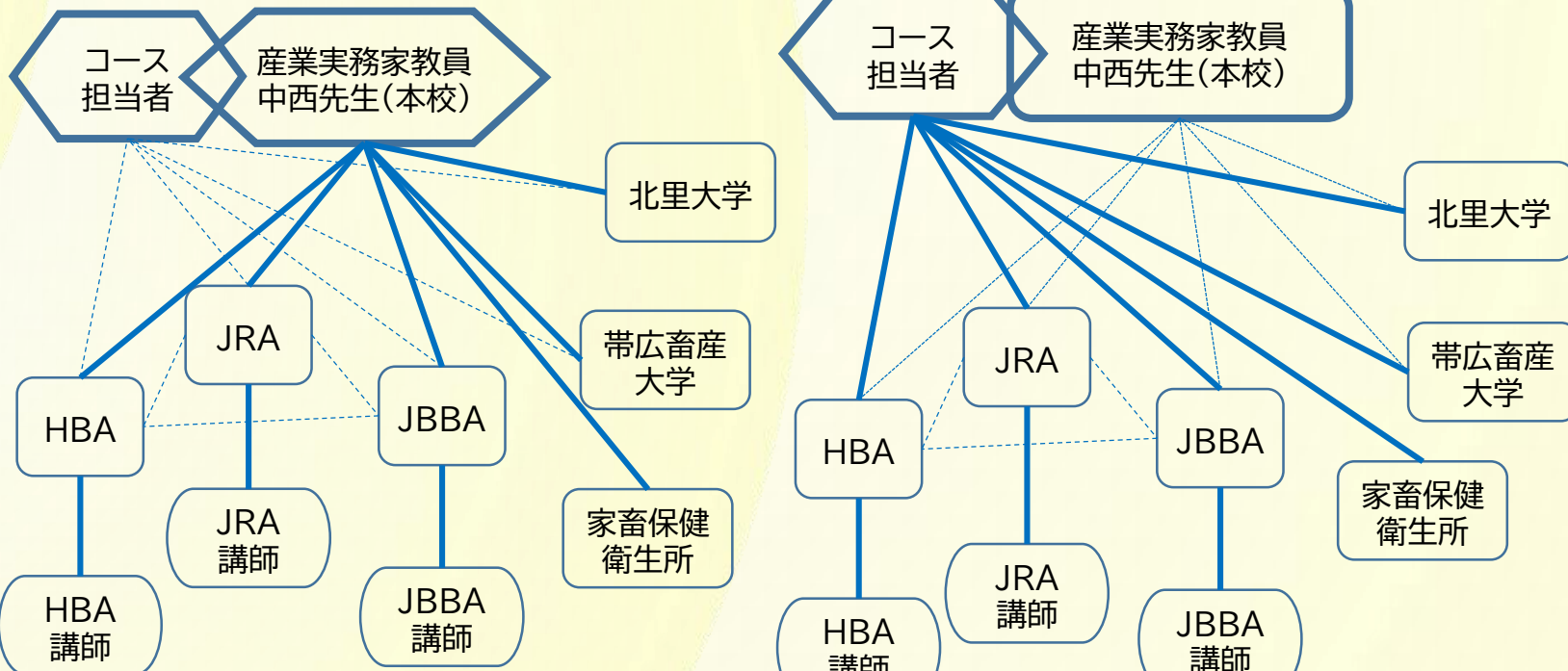
# 学校と産業界の関わりの変化(生産科学科馬事コース)

## 1年次



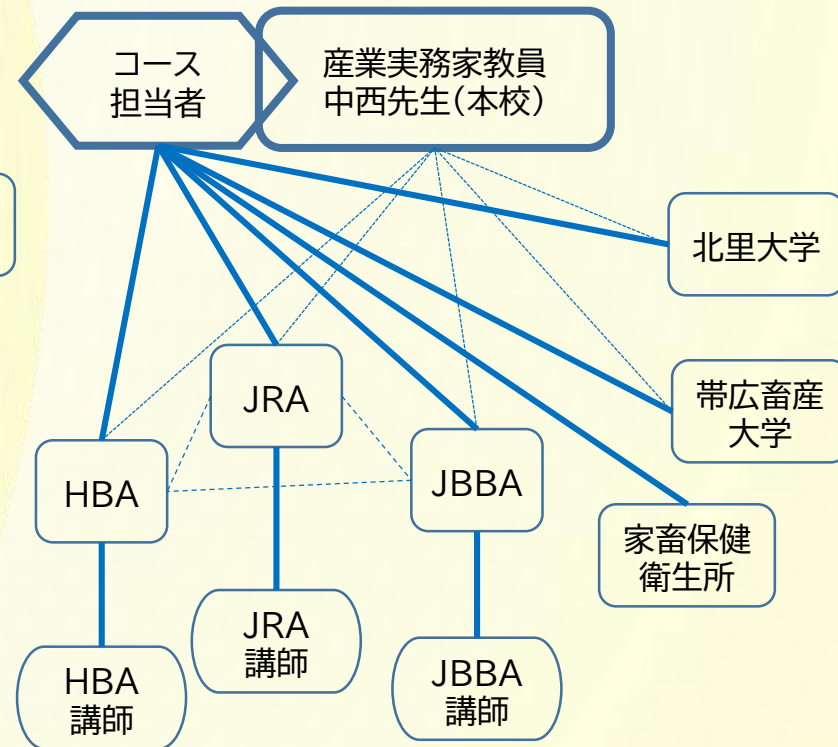
- コース担当、産業実務家教員、JRA、JBBA、HBAと合議により授業を計画、産業実務家教員のネットワークにより事業を推進

## 2年次



- 産業実務家教員が学校に常駐。合議体制を継続しながらコース担当と協働で連携体制を維持。大学・家畜保健衛生所等連携を拡大

## 3年次



- コース担当に機能を移管しつつ、合議体制、連携体制を維持。常駐している産業実務家教員が、総合的に連携先や学習内容をコーディネート

# 学校と企業等で持ち続けるべきこと(心構え)

学校



企業や地域のトップを含む  
コンセンサスの形成

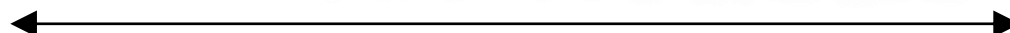


企業等

お互いの窓口となる社員(職員)  
と教員を尊重する姿勢

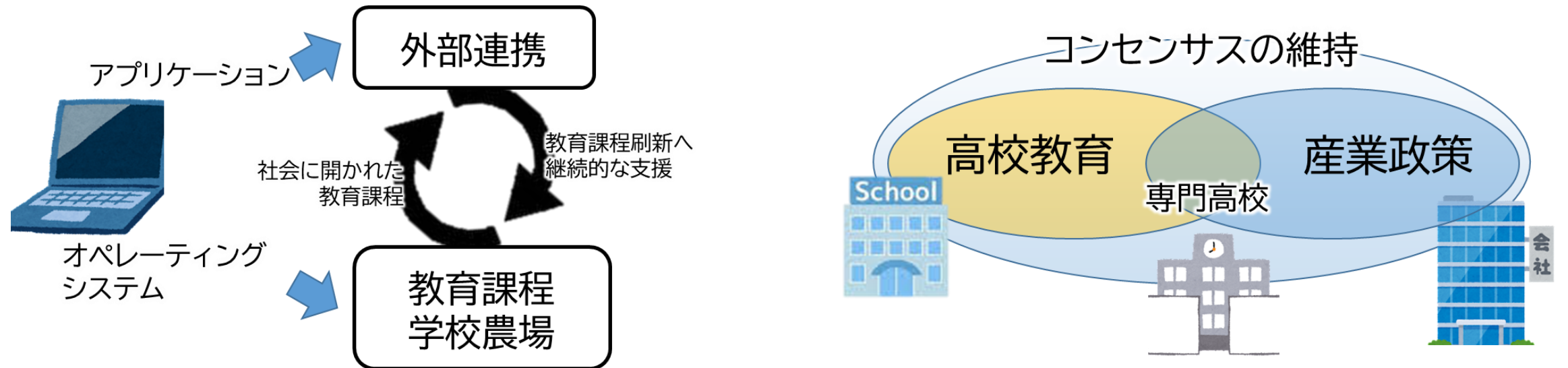


人事異動に当たっての  
スムーズな引き継ぎ



# 学校が企業・地域とともに理解したいこと

- 外部連携は教育課程や教育システム・学校農場運営の上に立脚
- 教育課程の刷新は社会の進展とともに弛まず必要であり、そのために持続的な企業・地域の支援の必要性
- マイスター・ハイスクール事業で形成された人材育成に係るコンセンサスが将来にわたって維持される必要性



・・・産業政策と高校教育の結節点である専門高校・・・

(マイスター・ハイスクール事業公募資料より)



# 令和5年度 マイスター・ハイスクール事業成果発表会 地域発次世代イノベーター人材の育成 ～持続可能な日高農業の創り手～

将来は日高だけではなく  
北海道、日本、世界の農業の  
イノベーターとなるよう努力していきます。  
(マイスター・ハイスクール事業成果発表会にて、生徒会長 小清水陽人)

北海道静内農業高等学校